

## ■ 安全性について

# キャスター走行性

従来の浴室床ではストレッチャー、車椅子で移動する際にタイルの目地による振動で高齢者が不安を感じるという報告があります。また弊社が施設において要介護高齢者に行ったヒアリングアンケートでも同様の不満が浮かびあがりました。特にストレッチャーで仰向け搬送される機械浴室ではこの傾向が高くなります。バスナフローレ、バスナアルティはストレッチャー、キャスター走行性を考えて設計されたシートです。特にバスナアルティはバスナフローレに比べ、キャスター走行がスムーズなためストレッチャー、車椅子で入浴される機械浴室、特別浴室に最適です。

## ■ 各種床材のキャスター走行性とキャスター静止性とキャスター振動性

床材	キャスター走行性試験	キャスター静止性試験	キャスター振動性試験
	悪い ← 長いほど走行がスムーズ → 良い	勾配が大きい方が「キャスター静止性」が良い	ランクが高い方が「キャスター振動性」が良い
バスナフローレ	1.4m	勾配 4/100	●●●● ランク 4
バスナアルティ	2.4m	勾配 2/100	●●●● ランク 4
浴室用 ゴムフロア	2.8m	勾配 2/100	●●●● ランク 3
一般 ユニットバス床(FRP)	3.5m	勾配 1.5/100	●●●● ランク 3
一般 セラミックタイル	3.0m	勾配 1.5/100	●●●● ランク 2

### キャスター走行性 試験方法

**評価基準** 測定値が2m以上で、キャスター移動がスムーズに行われていると感じるレベルです。

斜度10°スロープから荷重をかけたキャスター付き台車を走行させ、水平面に施工した床材上で停止するまでの移動距離を測定します。実際の車いすでの走行を想定し、荷重は80kgとしています。

おもり:80kg  
キャスター輪直径:100mm  
キャスター輪厚み:20mm



※データは特記のない場合は全て社内データです。  
数値は試験値であり、保証値ではありません。

### キャスター静止性 試験方法

**評価基準** 浴室の平均斜度が勾配2/100未満ですので、2.0以上であれば問題ないレベルであるといえます。

傾斜をつけたスロープ上に床材を施工し、その上でキャスター付き台車に人間(体重80kg)が乗ります。勾配を0.5/100刻みで上げていき、初めて台車が動いた斜度を記録します。

### キャスター振動性 試験方法

**評価基準** 車いすに乗っている方が危険を感じないランク3以上が問題ないレベルであるといえます。

下地上に床材を施工し、その上でキャスター付き台車に人間(体重80kg)が乗ります。床材上で台車を動かしたときに、乗っている人間が感じる振動の大きさを、相対比較で各床材を5段階評価します。

- ランク5: 全く振動を感じない
- ランク4: かすかに振動を感じる
- ランク3: 振動はあるが、危険を感じない
- ランク2: 振動により、少し不安を覚える